

# しじゅうから



いきもの



森よほう

小鳥の森では水辺が少なく、山からの絞り水が溜まってできた大小の池とそこに入り出る流れのとても緩やかな沢、昔は田んぼとして使っていた場所があるのみです。しかし、池のほとんどはアメリカザリガニやウシガエルなどの外来種が入ってしまっていて、在来種は少なめ。それでも、森の中の一部の池では小鳥の森では唯一の外来種が入っていない場

所もあります。6月になると、それらの水辺ではトンボたちがにぎやかに飛んでいる姿を見ることができるようになります。

トンボと言えば幼虫時代は水の中で過ごし、成虫になると空を飛び回りますが、水に依存している昆虫です。水辺の少ない小鳥の森ですが、これまでに45種ものトンボが記録されています。

その中でも6月になるとオオシオカラトンボがよく見られるようになります。シオカラトンボは知っている人が多く、馴染みのあるトンボですが、小鳥の森で「シオカラトンボがいた!」という場合はたいていオオシオカラトンボのことが多いです。シオカラトンボは小鳥の森では少なく、見られる機会はそれほど多くはありません。小鳥の森で見られるシオカラトンボの仲間にはもう一種、4月中旬ぐらいから見られ始めるシオヤトンボという種類があります。こちらは個体数も多く、小鳥の森では最もよく見られるトンボと言ってもいいぐらいかもしれません。オオシオカラトンボは名前に「オオ」が付くだけあって、シオカラトンボよりも大きく、がっしりとした印象です。

シオカラトンボの仲間に共通する♂が体全体に青白い粉を吹くことが特徴ですが、他の2種と比べても色合いが濃い点と♂♀共通で羽の付け根が黒くなる点が識別のポイントです。

昆虫の動きが活発になる時期、小鳥の森に来た際はぜひ水辺の近くで色々なトンボを探してみてください。



▲シオカラトンボ♂



▲シオヤトンボ♂



▲オオシオカラトンボ♂

## イベントあるよ

### ●環境保全ボランティア

森の中の植物の移植作業  
 日時：6月27日(土) 9時～12時  
 場所：小鳥の森ネイチャーセンター  
 対象：18歳以上  
 定員：10名  
 持ち物：軍手、長靴、帽子、飲み物、  
 熱中症対策、虫よけ対策

### ●昆虫観察会

森を歩きながら虫探しのコツを学ぶ  
 日時：6月28日(日) 9:00～10:00  
 場所：小鳥の森ネイチャーセンター  
 対象：小学生以上とその保護者  
 定員：5組  
 持ち物：長袖長ズボン、帽子、飲み物  
 熱中症対策、虫よけ対策

※どちらも6月2日より電話にて受付開始

たからもの

# 森の宝物探し

小鳥の森で宝物（自然の中の生き物）を見つけることができたならオリジナル缶バッジをプレゼントしています。その日に見つける宝物が何かをネイチャーセンターで確認して、写真を撮ってレンジャーに見せるとミッションクリア！

今月の生き物はコレ

## コサメビタキ (ヒタキ科)



コサメビタキはスズメより小さいので、森の中で見つけるのは至難の業です。体の割には、目は大きくて、間違いなく彼らのチャームポイントといえるでしょう。体色は灰褐色、胸から腹にかけては白っぽい色で、オスメスともに同色です。この体色が、サメの皮の色に似ていることから、また、サメビタキよりも小さいので、コサメビタキという名前になりました。昔は、刀の柄の部分や、ワサビのすりおろしにサメの皮を使っていたりと、今よりもサメの皮が身近でした。その色に似ていると思うなんて、昔の人は感性が豊かですね！

コサメビタキは飛んでいる虫を食べるのですが、止まり木から飛んで、空中で虫を捕まえ、また元の枝に戻るといった行動をとることから、英語では「フライキャッチャー」といいます。

鳴き声は複雑で、なかなか文字で表すことは難しいのですが、「ツイ チョプチピキキキョチュチュチュ...」とこのように表すのが限界です。囁くような声なので、メロディーより声質で覚えるといいかと思えます。森の中でよく耳を澄ませて、聞いてみてくださいね。

### しじゅっぴークイズ

6月15日はオウムとインコの日ですが、このなかでインコの仲間は何の鳥でしょう(答えは2個)?

- ①ハヤブサ ②ツミ ③フクロウ ④コゲラ
- ⑤チョウゲンボウ

# しじゅっぴーのつぶやき

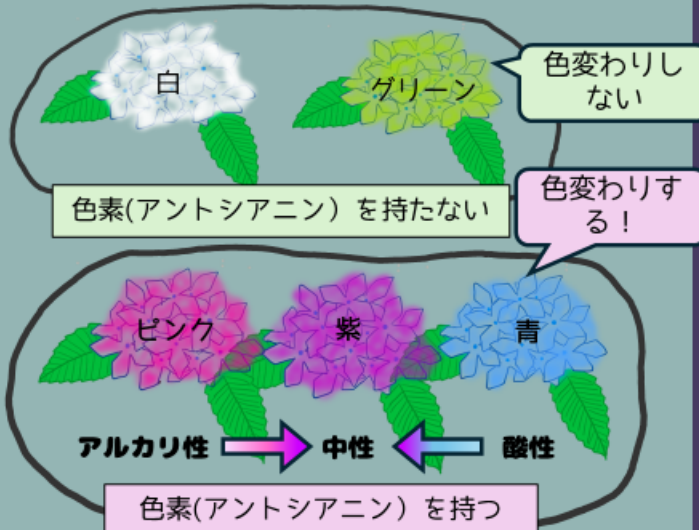
アジサイ七変化



6月の代表の花といえば、アジサイですね。日本の固有種であるガクアジサイが品種改良され、今では世界中に2000種類ほどあるそうです。

さて、皆さんは、アジサイといえば何色を思い浮かべますか？青、紫、ピンク、白、グリーン... などなど、たくさん色がありますね。ではどうして、こんなにもたくさん色があるのでしょうか？実はアジサイは複雑な仕組みで色が変わっています。今回は少しだけ化学のお話で、ひも解いてみましょう。

アジサイは2つのグループに分けられる



色が変わるのは、色素を持つ花(正確にはがく片)で、それには、土壌中のアルミニウムとアジサイの中で作られる助色素という物質が大きく関わっています。アルミニウムは酸性ではよく溶け、アルカリ性ではあまり溶けません。そのアルミニウムが、アントシアニンという色素や助色素と結びつき、酸性では青色、アルカリ性だとアルミニウムが根から吸収されないために、アントシアニン本来の色であるピンク色に発色します。皆さんがよく知っているリトマス試験紙とは酸性アルカリ性の発色が逆になりますが、それにはアルミニウムが関係しています。このことに関して述べようとすると、とても長いお話になってしまうので、今回はここまで。知りたい人は自分で調べてみてください。

最新情報はこちら

福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター)

《入場無料》休館日：毎週月曜日

(祝祭日の時はその翌日)

開館時間：午前8時30分～午後5時



Instagram



旧Twitter



ホームページ

